



佐々木精市 議員

熊対策について

被害防止対策について伺う。

A

被害防止対策として、関係機関や関係部署への熊出没情報の提供、市ホームページや広報紙による対策の周知、市公式SNS等による目撃情報が寄せられた際の注意喚起、捕獲体質の増設による捕獲体制の強化、有害鳥獣対策支援員によるパトロールを行っている。また、熊の誘因物となり得る柿や栗の木の伐採に対する補助金の創設について検討している。

斎場のエアコン設置について

市内にある斎場のエアコン設置状況について伺う。

A

大迫斎場は、待合ロビーと待合室、石鳥谷斎場は、待合ロビー、待合室、収骨室、東和斎場は、待合ロビーにそれぞれ設置されている。老朽化や故障などの現状を踏まえ、随時修理、更新を行っていく予定である。

不登校対策について

不登校児童生徒の保護者に対する支援について伺う。

A

令和5年度は、まなび学園に設置している風の子ひろばの教育相談員を増員して教育相談体制を強化し、従来行ってきた保護者の電話や来所による相談だけでなく、教育相談員の方から学校や家庭に向かうアウトリーチ型の支援を行っている。フリースクールなどの民間団体とも連携を図り支援しており、今後不安や悩みを軽減、解消できるような支援を行っていく。

一人一台の端末を活用した児童生徒の健康観察、相談体制の整備について伺う。

現在、児童生徒の学力や日常的な行動、心身の健康状態などの多様なデータを校内で一元的に管理するための総合型校務支援システムを県内すべての公立学校で統一し、運用するための準備が進められている。市では、令和6年度中に導入予定としているが、今後、機能や活用方法について先進事例を参考にしながら進めていく。

A

現在、児童生徒の学力や日常的な行動、心身の健康状態などの多様なデータを校内で一元的に管理するための総合型校務支援システムを県内すべての公立学校で統一し、運用するための準備が進められている。市では、令和6年度中に導入予定としているが、今後、機能や活用方法について先進事例を参考にしながら進めていく。

令和5年度高校生議会を開催



一般質問に登壇した花北青雲高等学校 小川口夢香さん



議長を務めた花巻農業高等学校 千田佳季さん

花巻市議会広聴特別委員会が企画した高校生議会が、令和5年10月24日に行われました。今回で2回目の開催となり、今回は6校での開催でしたが、今回は市内7校に参加をいただきました。高校生総勢19人が花巻市議会議場に参集し、花巻市に対しさまざまな観点で一般質問を行いました。



菅原ゆかり 議員



花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会を設置

花巻市議会議員の報酬等について調査検討を行うため、12月1日、市議会に特別委員会を設置しました。同委員会は、議長を除く全議員で構成されています。同日開かれた第1回委員会では正副委員長の互選を行い、委員長に高橋修委員、副委員長に佐藤現委員を選出しました。この日の委員会では、特別委員会を円滑に運営するため、委員会内に小委員会を設置すること、小委員会の委員定数を8人とすることなどを確認。12月12日に開催した委員会でも小委員会に関するなどを正式に決定しました。議員活動や報酬の在り方を検証 花巻市議会議員の報酬については、平成23年9月に花巻市議会議員定数および議員報酬調査検討特別委員会を設置して調査検討を行いました。改定には至らず、合併以降現在まで、報酬額は変わっていません。しかし、議員としての責務と活動領域は拡大し、議員の専門性が求められることや、若い世代や女性など多様な人材が議会に進出しやすい経済的な活動基盤を確保していく必要があります。このため、市の財政や地域経済の動向や全国的な議員報酬月額の推移を見極めた上で、改めて議員活動および議員報酬について検討していく必要があることから、特別委員会を設置して、議員活動の検証と報酬の適正な在り方の調査検討を行うこととしました。

大迫高等学校



左から 高橋 知希さん、佐々木 円さん (議長席)、菊池 昊介さん

質問

運転免許を持たない高校生や高齢者にとって、公共交通機関は重要であるが、大迫総合支所から東北本線の最寄り駅までは14キロメートル、路線バスも1日5本だけといった状況である。大迫地区の公共交通の充実について伺う。

答弁

大迫地域のバス路線については平成18年から市が赤字を全て負担して維持、確保に取り組んでいる。現在、令和6年度から5年間を計画期間とする花巻市公共交通計画の策定作業中であるが、幹線バス路線の大迫石鳥谷線や、大迫花巻線の維持や再編、予約乗り合いバスの効率化、利便性向上について交通事業者と連携して取り組み、市民や観光客が利用しやすい公共交通の維持、確保を図りたいと考えている。